

子育て王国そとじや

インタビュー Interview



輝いている人

自分の余生をベトナム農家への与生にできれば

国際協力機構（JICA）のシニアボランティアとして、10月から2年間ベトナムの農業農村開発省に派遣されているのが田尻照久さんだ。

若いころから海外に興味があり、45年前には青年海外協力隊の一員として、フィリピンで測量に当たった経験をもつ農林水産省の元職員。職員時代もマレーシア、カンボジアなど、世界30カ国を超える国々で灌漑施設の整備などに携わってきた。長い海外経験の中で、人間にとって食べるのが一番大事と実感し、平成22年の退職後は、「耕さない、肥料をやらない、農薬をやらない」自然農法に取り組んだ。

6年で自身の目標をほぼ達成し、「もう一度、若いときのように途上国の役に立てないか」との思いに

「自分の余生をベトナム農家への与生にできれば」と語る68歳、帰還するころには古希を迎える。与えた後に待っているのは、どんなすてきなプレゼントだろう。

「専門家は目的がはっきりしているが、ボランティアはある意味フレキシブルに活動できる。自分の得意分野を生かせれば」と話す。

一方、派遣に伴う35日間の事前研修で一番苦労したのがベトナム語の習得。「大受験以来の朝から晩まで勉強強だった」と、さすがの田尻さんも参った様子だ。

「今回の任務は、主にため池の安全管理。破壊しないためのマニュアル作りや、現地の人がどう管理すべきかのワークショップを開催し、解決策を見出していく。」

「専門家は目的がはっきりしているが、ボランティアはある意味フレキシブルに活動できる。自分の得意分野を生かせれば」と話す。

田尻 照久さん（清音柿木）

シニアボランティアとしてベトナムの農業農村開発省に派遣されている

★ こんにちは赤ちゃん訪問



保健師や助産師などの専門職が訪問して健診やつどの広場の案内をするほか、母親の悩みや不安に答える



子育て王国 国王チュッピー

市では、生後2週間の時点で母子保健コーディネーターや地区担当保健師が「すくすく電話」を掛け、産後の育児状況を確認し、お母さんや赤ちゃんのサポートをしています。また、生後4カ月までに、こんにちは赤ちゃん訪問を行っています。

おっぱい相談をしたい、体重が増えているのか分からない、泣いてばかりで寝てくれないなど、思い通りにいかなくて不安になる人も多いようです。特に初めてお母さんになった人は、順調に大きくなっているのかな、こんな育児でいいのかなと心配しながら育児をしていることが多いと思います。

早い時期に個別に相談ができる育児サポートの環境があると、安心して子育てができるので、電話や子育てほっとメール（kosodate@city.soja.okayama.jp）で気軽に相談してください。

問い合わせ こども課母子保健係 ☎8261

11月

チュッピーおでかけスケジュール

- 12日 親子で楽しむ音楽会（県立大学）
 - 19日 チュッピータウンへ行こう！（総合福祉センター）
- ※滞在時間は未定です

11月のチュッピーおでかけ予定の一部だよ。みんな会いに来てね！



学校給食 おすすめレシピ

サバのごまみそかけ



- 材料（4人分）
- サバの切り身（1切れ 50g）…4切れ
- 調味料…みそ=大さじ1 料理酒=大さじ1 みりん=大さじ1 砂糖=小さじ2 すりごま=小さじ1/2 塩=少々
- 作り方
- ①サバに軽く塩を振って焼く。
- ②調味料と水 100cc を混ぜ合わせ、とろみがつくまで加熱する。
- ③①に②をかける。
- その他の献立 ごはん 牛乳 即席漬けのっぺい汁

